



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月4日

上場会社名 株式会社 GSIクレオス
 コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉永 直明
 (氏名) 荒木 靖司

上場取引所 東

TEL 03-5211-1802

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	107,606	7.5	1,457	1.5	1,460	△2.3	945	△8.0
30年3月期第3四半期	100,057	2.0	1,436	40.1	1,494	96.3	1,026	14.0

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 380百万円 (△74.6%) 30年3月期第3四半期 1,501百万円 (115.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	146.51	—
30年3月期第3四半期	159.15	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	63,289		19,070			30.1
30年3月期	62,677		18,916			30.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 19,070百万円 30年3月期 18,916百万円

※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	35.00	35.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△2.8	1,500	△4.7	1,500	△0.2	1,000	9.4	155.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	6,464,971 株	30年3月期	6,464,971 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	13,969 株	30年3月期	13,593 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	6,451,164 株	30年3月期3Q	6,452,199 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. (参考) 海外売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなか、個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦や中国経済をはじめとする世界経済の下振れ懸念などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期比7,549百万円、7.5%増収の107,606百万円、売上総利益は、前年同期比64百万円、0.6%減益の9,946百万円、営業利益は、前年同期比21百万円、1.5%増益の1,457百万円、経常利益は、前年同期比34百万円、2.3%減益の1,460百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比81百万円、8.0%減益の945百万円となりました。

当社は、2018年8月3日に3ヵ年の中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）を公表し、2020年ビジョン「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する」を実現すべく、「海外売上高の拡大」、「収益性の向上」、「人材の充実と働き方改革への対応」、「内部統制システムの充実とリスク管理の徹底」の4つの重点施策を掲げ、収益基盤と財務体質の強化に取り組んでおります。

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

- ・機能性の高い原糸・生地の海外販売が大きく増加しました。また、婦人ファンデーションの取引が減少しましたが、中国におけるインナー製品のOEM取引は増加しました。
- ・米国向けのアパレル用生地との取引とアウター製品のOEM取引が増加しました。婦人ニット製品の輸入販売は減少しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は、前年同期比7,301百万円、9.3%増収の85,754百万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比132百万円、15.8%減益の705百万円となりました。

<工業製品関連事業>

- ・欧米やアジア向けの塗料原料と米国向けの化学品の取引が前年並みに推移し、フィルム関連の取引は増加しました。
- ・中国製半導体基板と機械装置の取引は堅調に推移しました。
- ・ホビー関連と化粧品原料の取引は増加しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は、前年同期比248百万円、1.2%増収の21,851百万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比134百万円、14.1%増益の1,084百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比612百万円増加の63,289百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比457百万円増加の44,218百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による株主資本の増加などにより、前期末比154百万円増加の19,070百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡及適用した数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要となりました場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,636	11,905
受取手形及び売掛金	30,154	31,304
商品	8,138	8,968
未着商品	258	38
その他	1,182	1,308
貸倒引当金	△283	△282
流動資産合計	52,087	53,243
固定資産		
有形固定資産	4,407	4,505
無形固定資産	620	534
投資その他の資産	5,562	5,006
固定資産合計	10,589	10,046
資産合計	62,677	63,289
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,773	25,873
短期借入金	15,250	13,495
1年内返済予定の長期借入金	227	232
未払法人税等	276	177
引当金	466	258
その他	2,901	3,303
流動負債合計	42,895	43,340
固定負債		
長期借入金	355	279
退職給付に係る負債	143	141
その他	366	456
固定負債合計	865	877
負債合計	43,760	44,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	10,071	10,790
自己株式	△22	△23
株主資本合計	18,090	18,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	82
繰延ヘッジ損益	△36	△24
為替換算調整勘定	190	132
退職給付に係る調整累計額	65	71
その他の包括利益累計額合計	826	261
純資産合計	18,916	19,070
負債純資産合計	62,677	63,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	100,057	107,606
売上原価	90,046	97,660
売上総利益	10,010	9,946
販売費及び一般管理費	8,574	8,488
営業利益	1,436	1,457
営業外収益		
受取利息	39	42
受取配当金	59	51
為替差益	58	-
その他	88	88
営業外収益合計	245	183
営業外費用		
支払利息	145	130
為替差損	-	15
その他	41	34
営業外費用合計	187	181
経常利益	1,494	1,460
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	207	-
その他	0	-
特別利益合計	208	0
特別損失		
固定資産除却損	11	2
投資有価証券評価損	16	-
ゴルフ会員権売却損	-	4
関係会社出資金評価損	86	-
出資金評価損	20	79
その他	8	-
特別損失合計	143	85
税金等調整前四半期純利益	1,559	1,374
法人税、住民税及び事業税	430	414
法人税等調整額	102	15
法人税等合計	532	429
四半期純利益	1,026	945
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,026	945

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,026	945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	514	△524
繰延ヘッジ損益	18	12
為替換算調整勘定	△74	△57
退職給付に係る調整額	15	5
その他の包括利益合計	474	△564
四半期包括利益	1,501	380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,501	380

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	78,453	21,603	100,057	—	100,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	78,453	21,603	100,057	△0	100,057
セグメント利益	837	950	1,788	△351	1,436

(注) 1 セグメント利益の調整額△351百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△370百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	85,754	21,851	107,606	—	107,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	85,754	21,851	107,606	△0	107,606
セグメント利益	705	1,084	1,790	△332	1,457

(注) 1 セグメント利益の調整額△332百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△347百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. (参考) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	47,976	6,890	2,842	57,709
II 連結売上高				100,057
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	47.9	6.9	2.8	57.7

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	55,779	6,761	3,200	65,741
II 連結売上高				107,606
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.8	6.3	3.0	61.1

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

北米・・・・・・アメリカ

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2019年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト

2019年2月4日
株式会社GSIクレオス
(単位:百万円)

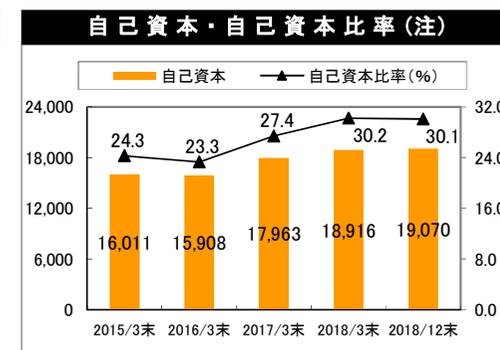
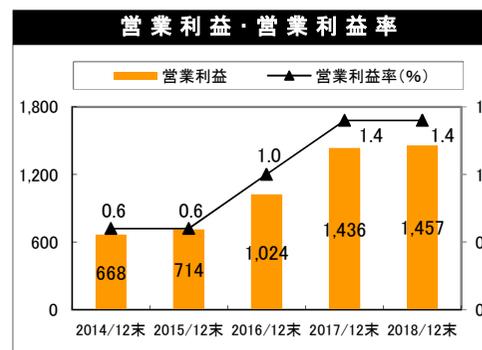
経営成績	2019/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	前年 同期比	主な増減要因
売上高	107,606	100,057	7,549	【売上高】 繊維事業の海外売上高が大きく増加したことから増収。
売上総利益	9,946	10,010	△ 64	【売上総利益】 繊維事業の利益率の低下により減益。
販売費 一般管理費	2,705 5,783	2,790 5,784	△ 84 △ 0	
営業利益	1,457	1,436	21	【営業利益】 物流費などの販売費の減少により増益。 【経常利益】 為替差損の計上などにより減益。
利息収支	△ 87	△ 106	18	
受取配当金	51	59	△ 7	
為替差損益	△ 15	58	△ 74	
持分法による投資損益 その他	15 38	18 28	△ 2 9	
経常利益	1,460	1,494	△ 34	【親会社株主に帰属する四半期純利益】 ・前期は、特別利益に投資有価証券売却益等を計上。 ・通期見通しに対する進捗率は94.5%。
特別利益	0	208	△ 208	
特別損失	85	143	△ 57	
税金等調整前四半期純利益	1,374	1,559	△ 184	
法人税等	429	532	△ 103	親会社株主に帰属する四半期純利益
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	1,026	△ 81	

財政状態(注)	2018/12末	2018/3末	前期末比	主な増減要因
総資産	63,289	62,677	612	【総資産】 売上債権の増加等により増加。
負債 (ネット有利子負債)	44,218 2,101	43,760 3,197	457 △ 1,095	【負債】 仕入債務の増加等により増加。
純資産	19,070	18,916	154	【純資産】 四半期純利益による株主資本の増加等により増加。
自己資本	19,070	18,916	154	
自己資本比率	30.1%	30.2%	△ 0.1pt	

通期の見通し	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当金(円)
2019/3期(予想)	130,000	1,500	1,500	1,000	40(円)
2018/3期(実績)	133,727	1,573	1,502	913	35(円)
前期比	△ 3,727	△ 73	△ 2	86	5(円)

セグメント情報	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	2019/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	前年 同期比	2019/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	前年 同期比
繊維事業	85,754	78,453	7,301	705	837	△ 132
工業製品事業	21,851	21,603	248	1,084	950	134
調整額	-	-	-	△ 332	△ 351	19
合計	107,606	100,057	7,549	1,457	1,436	21
【繊維事業】		増収減益		【工業製品事業】		増収増益
主な増減要因	[大幅増収]	インナー用機能糸・生地		主な増減要因	[増収]	フィルム関連、プラモデル用塗料・工具
	[増収]	インナーOEM製品(中国販売)			化粧品原料	
		アウター用生地(米国向け)			[堅調]	中国製半導体基板、機械装置
		アウターOEM製品			[前年並み]	塗料原料(欧米・アジア向け)
	[減収]	婦人ファンデーション、婦人ニット製品			化学品(米国向け)	

地域別売上高	2019/3期 第3四半期		2018/3期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比
アジア	55,779	51.8	47,976	47.9	7,803	3.9pt
北米	6,761	6.3	6,890	6.9	△ 128	△ 0.6pt
その他海外	3,200	3.0	2,842	2.8	357	0.2pt
海外売上高	65,741	61.1	57,709	57.7	8,031	3.4pt
日本	41,865	38.9	42,347	42.3	△ 482	△ 3.4pt
合計	107,606	100.0	100,057	100.0	7,549	-



(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。